

中村 博美 議員



復興元年！元気に生きよう！宣言都市

豪雨災害について

議員

第3次義援金配分について、市長の考え方尋ねる。

市長

流失した8軒を中心に、手厚い加算をしてほしいと義援金配分検討委員会に指示をしている。

議員

全壊建てかえ世帯への支援はあるか。

市長

流失世帯、プラス全壊世帯の中でも解体して新しく家を建てて、もう一度常総市に住んでいただけの方について、何とか義援金の中から加算部分が支援できなか検討を進めている。

議員

流失特別世帯の人と全壊建てかえ世帯の人に手厚い支援をしてもらいたい。流失特別世帯への支援はあるか。

市長

流失世帯に加算することは当然だと思うが、全壊世帯やほかの世帯とのバランスも考えなければならない。



□ 質問 □ JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI □ 質問 □

堀越 輝子 議員



ればならないものとされており、若い方、女性の登用も積極的に行つていくことになる。

議員

任命制にすることのメリットは。

農業委員会事務局長 メリットとしては、透明なプロセスを経て農業委員が推薦されること。特に農業委員の過半数が認定事業者でなくてはならないことだと思う。

農業委員会事務局長 メリットとしては、透明なプロセスを経て農業委員が推薦されること。特に農業委員の過半数が認定事業者でなくてはならないことだと思う。

農業に新しい風を吹き込む



農業委員会について



農業委員会事務局長 現在の当市の女性委員の数、委員の平均年齢、一番若い方の年代を伺う。

農業委員会事務局長

女性委員は26名中2名、平均年齢は63・7歳、一番若い方は30代である。

議員

なるべく女性、若い人が積極的に任命されるよう取り組んでいただけるようにお願いしたい。女性委員をふやし、多様な意見を反映させていくことに関してもう一つ、市長はどうのように考えていくか。

市長

私は積極的に女性、そして若い人を登用していきたいと思っている。また、市民農園・体験農業という形での女性の参加も大変重要なと考えている。

掲載できなかった質問 ▶当市の農業政策について

じょうそう市議会だより

平成28年8月18日発行